

# すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 018 2016/3/9

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

## ☆ 小学校6年生の進学先中学校訪問

－ 児童の中学校進学への期待を高めるとともに、不安解消を図ります。－

【本地域学校園の目的】

- ・ 中学校入学前に小学6年生に中学校の様子を知らせることによって、中学校進学に対する不安を軽減し、安心と意欲を持たせる。
- ・ 小学6年生が中学校教員の授業を体験し、部活動を見学しておくことで、中学校生活へのスムーズな移行ができるようにする。

○ 1月22日(金)午後、来年度入学予定の児童が中学校を訪問し、授業や部活動を体験しました。

日程	
時間	児童の行動
13:50～14:05	○ 中学校の多目的室に集合 ・ 校長先生のお話 ・ 日程確認・諸注意
14:15～14:40	○ 体験授業 しらさぎ学級：国語1 1組：国語2 2組：社会 3組：理科 4組：英語1 5組：英語2
14:50～15:30	○ 部活動見学 ① 野球 ② バスケットボール(女子) ③ バレーボール(男子) ④ バレーボール(女子) ⑤ サッカー ⑥ ソフトテニス(男子) ⑦ ソフトテニス(女子) ⑧ 卓球 ⑨ 柔道 ⑩ バドミントン ⑪ 吹奏楽 ⑫ 美術
15:40～15:45	○ 校庭集合 ・ まとめ、ふりかえり ・ 中学校3学年主任の話 ・ 解散



岡本小 36人, 岡本西小 81人, 御幸が原小 30人  
合計 147人

## ◎ 本年度の小中一貫教育を振り返ってのアンケート

○ 本地域学校園の小中一貫教育の成果と課題を明らかにするため、毎年この時期に、小学校6年生と中学校1年生を対象にアンケート調査を実施しています。

○ 小学校6年生(131人)に ( ) 内数字は昨年度の値

① 進学を不安に思っていましたか。

- (1) とても不安 10(9%)  
(2) 少し不安 50(52%)  
(3) あまり不安でない 25(29%)  
(4) 全く不安でない 15(10%)

② 今、進学を不安に思いますか。

- (1) とても不安 3(4%)  
(2) 少し不安 42(36%)  
(3) あまり不安でない 37(43%)  
(4) 全く不安でない 18(17%)

③ 進学で不安なことは何ですか。

- (複数回答可)  
(1) 勉強が難しくなる 80(77%)  
(2) 部活動のこと 47(51%)  
(3) どんな先輩がいるか 44(17%)  
(4) どんな先生がいるか 33(21%)  
(5) 友人関係やいじめのこと 32(21%)  
(6) 1日の生活のこと 27(22%)  
(7) 教科担任制について 21(16%)  
(8) 校則について 0(19%)  
(9) 特にない(1人)  
自分の時間がない(1人)  
通学のこと(1人)

④ 小中一貫教育の取組で、不安は変わりましたか。

- (1) 減った 21(20%)  
(2) 少し減った 51(53%)  
(3) 変わらない 24(24%)  
(4) 少し増えた 4(2%)  
(5) 増えた 0(1%)

⑤ 不安を減らした取組は何ですか。

- (複数回答可)  
(1) 中学校訪問 72(80%)  
(2) 相互乗り入れ授業 41(24%)  
(3) クリーン活動 34(23%)  
(4) あいさつ運動 15(15%)  
(5) 運動会での交流 15(9%)  
(6) 文化祭を見に行った(1人)  
心配は減っていないので当てはまらない(1人), もとから不安はない(1人)  
特にない(2人)

○ 中学校1年生(128人)に ( ) 内数字は昨年度の値

① 昨年度の小中一貫教育の取組で、進学への不安はどう変わりましたか。

- (1) 減った 13(17%) (2) 少し減った 38(31%) (3) 変わらない 37(36%) (4) 少し増えた 9(8%)  
(5) 増えた 2(5%) (6) とても増えた 1(3%)

② 不安軽減に役立った取組は何ですか。

- (複数回答可)  
(1) 中学校訪問 48(44%)  
(2) クリーン活動 30(13%)  
(3) 運動会での交流 24(26%)  
(4) 相互乗り入れ授業 23(15%)  
(5) あいさつ運動 16(14%)  
(6) 文化祭(1人)  
部活動見学(1人)  
特にない(15人)

③ 中学校入学後に困ったと思ったことは何ですか。

- (複数回答可)  
(1) 勉強が難しくなった 90(81%)  
(2) 部活動のこと 31(29%)  
(3) 先輩との人間関係 30(7%)  
(4) 中学校の生活になじめないこと 26(22%)  
(5) 友人関係やいじめのこと 23(29%)  
(6) 校則のこと 17(16%)  
(7) 先生との人間関係について 14(7%)  
(8) 教科担任制について 13(3%)  
(9) 高校について(1人), 水泳(1人), 定期テスト(1人), テストの内容(1人), 特にない(2人)

④ 小学校の先生による相互乗り入れ授業は役に立ちましたか。

- (1) とても役に立った 25(19%)  
(2) 少し役に立った 38(42%)  
(3) どちらでもない 31(30%)  
(4) あまり役に立たなかった 3(2%)  
(5) 役に立たなかった 3(7%)

⑤ 小学校の先生による授業は、どのように役立ちましたか。

- (複数回答可)  
(1) 小学校で学んだことを思い出すことができた 62(64%)  
(2) 授業が楽しく、やる気が出た 34(25%)  
(3) 小学校の先生の授業は、丁寧でわかりやすかった 29(26%)  
(4) 昨年の担任の先生に会えて安心した 12(18%)  
(5) 授業中にそばに来て、個別に教えてもらった 2(4%)  
(6) 特にない(13人)

○ 小学校6年生における進学への不安感

は、小中一貫教育の取組で減少したことを72%の児童が肯定しています。特に、中学校訪問を上げている児童が多く、本地域学校園の特色である「体験授業」が好評なのだと思います。中学校1年生では、小学校の先生の授業について「楽しく、やる気が出る・丁寧だ」と感じています。教員同士の学び合いで、更なる授業力向上を目指します。

## ◎ 学校生活適応支援部会から

今年度は、「小中を通しての発達段階に応じた『すこやか河内学校園 生活のきまり』を活用した規範意識の醸成」をテーマに、各学校で「生活のきまり」に基づき、更に規範意識を持たせるようにしました。また、各校特有の課題解決にも積極的に取り組み、次のような成果と課題を確認しました。

[ 岡本小 ]

- ・ 課題として、あいさつがきちんとできないこと、廊下の歩き方のルールがきちんとしていないことがあげられます。あいさつについては強調週間を設定し、今後も継続的に指導していくことにしています。成果としては、チャイム着席がしっかり出来ていることがあげられます。

[ 岡本西小 ]

- ・ 課題として、廊下の歩き方のルールが徹底されていないことがあげられます。改善を目指し、継続的に指導していきます。成果としては、あいさつができるようになったことで、特に地域の方へのあいさつについて、地域協議会でお褒めの言葉をいただきました。

[ 中学校 ]

- ・ 小中一貫で「生活のきまり」を策定し、9年間を見通した指導を継続的に進めています。あいさつ、言葉遣い、時間の厳守についてはほぼ定着していますので、今後も継続して指導していきます。地域学校園の「きまり」には含まれていませんが、中学校では自転車の通行の仕方が課題となっています。地域の方々からも、中学生の自転車の乗り方が危険であると指摘されており、登下校時のルールの厳守を指導中です。

上記の成果と課題から、学校生活適応支援部会として、次年度取り組んでいくための強化目標を次のように掲げました。

『家で、地域で、学校で、元気よくあいさつできる児童生徒の育成』

この強化目標に基づいて、地域や各学校で、元気よくあいさつができる児童生徒を育てていきたいと考えています。更に次年度は、児童生徒の実態に応じたアンケートの実施に向け、本年度まで3年間同一内容で行ってきた「すこやか河内学校園 生活のきまり」のアンケートの内容、及び「生活のきまり」の内容についても検討を行っていく予定です。

## 小中相互乗り入れ授業

小学校 ⇒ 中学校

- 教員同士の「学び合い」による授業力向上を目指して。



12/1 社会 桑山典子 先生 (岡本西小)

12/11 保健体育 和氣渉 先生 (岡本小)

中学校 ⇒ 小学校

- 中学校教員の専門性を生かした授業。



秋山勝裕 先生 (国語)

津布久香奈 先生 (英会話)

11/16 → 岡本小

11/17 → 岡本西小

## 地域学校園全体研修会

2月1日(月)、岡本小学校を会場に本年度最後の地域学校園研修会(全体会)が開かれ、部会ごとに平成27年度の活動について振り返り、成果と課題を発表しました。



部会名	成果	課題
学力向上	「とちぎっ子学習状況調査」「学習内容定着度調査」において、学力の向上が見られた。	各「調査」の結果を、今後どのように活用していくか。
学校生活適応支援	「あいさつ」「時間を守る」の定着が確認できた。	「生活のきまり」について、児童生徒の実態に基づいて見直しを行う。
教育相談	小中で情報交換を重ね、連携を強化することができた。	次年度以降、スクールカウンセラーの参加を視野に入れ、連携を深めていきたい。
特別支援教育	個別対応のケース会を開催し、他校の工夫を、自校での取組に生かすことができた。	中学校「かがやきルーム」担当者の、小学校訪問の効果の検証を行い、改善に生かす。
健康・体力	サーキット運動により、敏捷性に向上が見られた。	基礎体力の向上を、継続的に目指していく。
食育推進	マナーの更なる定着を図り、今後も「マナー習慣」を継続していく。	「好き嫌い」の改善について、小中一貫で指導していく。
交流連携促進	小中相互乗り入れ後補充教員の勤務について、効果的に運用することができた。	小中相互乗り入れ授業について、授業者同士の連携を更に密にしていきたい。
学校図書館	情報活用能力を育てるための取組を継続中である。	調べ学習のまとめ方例を更に練り、参考資料として提示できるようにする。
地域学校園事務室会議	「義務教育費9年間の経費一覧表」を更新し、保護者の教育費の設計に向けて情報提供をした。	就学援助費の支給日の統一と、次年度の認定に向けての事務処理の一体化。

## ☆ 地域学校園事務室より

宇都宮市では学校教育法第19条に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校の諸経費の一部を援助する「就学援助制度」を設けています。内容は、1か月950～2,045円の学用品費(学年による差が有り)、給食費や修学旅行費・校外活動費の実費など、年3回に分けて支給されます。認定の基本は生活保護基準に基づく世帯の総所得金額になるため、家族全員の所得調査が行われます。また、生活状況確認のための担当民生委員の家庭訪問についても同意が必要です。

就学援助費の受給を希望する場合には、各学校へ「受給申請書」を提出していただきます。また、前年度認定を受けていても、毎年更新の手続きが必要です。なお、兄弟姉妹が小・中に分かれて通学する場合、本地域学校園内小中学校両方の在籍者に限り、小学校へ1部提出すれば中学校分は省略することが可能になります。(本地域学校園以外の小中学校に通学する場合には、それぞれの学校への提出になります。)

平成28年度に向けての申請手続きが始まりますので、ご質問等がある場合には、各学校の事務職員にお問い合わせください。